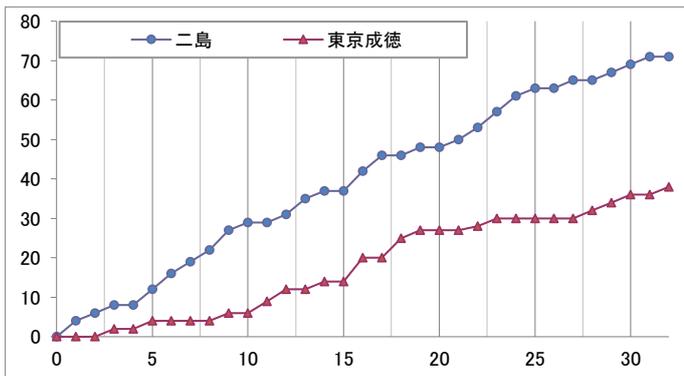




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会																		
会場	大野市エキサイト広場体育館																		
日時	2016年8月24日(水) 13:10																		
コート	OAコート 第3試合																		
カテゴリー	女 決勝トーナメント2回戦																		
主審	浜本 伸																		
副審	中井 将基																		
TEAM A	TEAM B																		
二島 (福岡)	71 ○	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>4</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>19</td><td>3rd</td><td>10</td></tr> <tr><td>10</td><td>4th</td><td>8</td></tr> <tr><td>-</td><td></td><td></td></tr> </table>	22	1st	4	20	2nd	16	19	3rd	10	10	4th	8	-			38 ●	東京成徳 (東京)
22	1st	4																	
20	2nd	16																	
19	3rd	10																	
10	4th	8																	
-																			

得点経過



BOXスコア

TEAM A		二島						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	早川 千華	/	0	0	0	0	0	
5	徳永 夏	/	0	0	0	0	0	
6	池下 陽菜	/	0	0	0	0	1	
7	中村 理瑚	/	0	0	0	0	0	
8	小柳 亜結	×	8	0	4	0	1	
9	首藤 祐希	×	19	0	8	3	1	
10	吉村 琉李	/	0	0	0	0	0	
11	野満 咲良	/	0	0	0	0	0	
12	梶原 早智	/	0	0	0	0	0	
13	川口 結菜	/	0	0	0	0	0	
14	中嶋 ゆめ(CAP)	×	23	5	4	0	0	
15	齋藤 風香	/	0	0	0	0	0	
16	中園 陽菜乃	×	17	1	6	2	3	
17	池松 美波	×	4	0	2	0	4	
18	浦野 来望	/	0	0	0	0	0	
コーチ	山崎 修							
合計			71	6	24	5	10	

TEAM B		東京成徳						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	野本 美佳子(CAP)	×	11	3	1	0	2	
5	村井 ちかこ	DNP	0	0	0	0	0	
6	山崎 蒼依	×	0	0	0	0	1	
7	洪 潤夏	×	2	0	1	0	0	
8	福田 楓	×	8	0	4	0	1	
9	菊地 梨緒	/	3	1	0	0	0	
10	野上 舞	×	4	0	2	0	0	
11	深澤 佳那子	/	5	1	1	0	0	
12	曾我 瞳桜子	/	0	0	0	0	0	
13	増田 遥	/	0	0	0	0	0	
14	浜野 緋咲	/	5	0	0	5	2	
15	北原 理沙	DNP	0	0	0	0	0	
16	勝又 菜花	DNP	0	0	0	0	0	
17	棟居 初菜	DNP	0	0	0	0	0	
18	鬼頭 ゆめこ	DNP	0	0	0	0	0	
コーチ	塩田 敦士							
合計			38	5	9	5	6	

×…スターター /…出場 DNP…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

両チーム、ハーフコートのDefでスタート。二島#9のジャンプシュートを皮切りに#8、#9の連続シュートで得点を重ねる。東京成徳も#8のジャンプシュートで返すも二島#14の3Pが決まって、東京成徳もたまたまタイムアウト。残り3分31秒で二島11-2東京成徳。その後も、リズムが変わらず二島が攻め続ける。東京成徳は堅い守りを崩せず1Q終了、二島22-4東京成徳。2Qは、開始早々、二島#14の3P、東京成徳#8のジャンプシュートで応戦するが、リズムを変えることができず、二島#16がスティールからレイアップシュートを決めて東京成徳が前半2回目のタイムアウトを取る。残り3分31秒、二島33-12東京成徳。その後、東京成徳#8のミドルシュート、#4の3Pで得点を重ねるが、相手Defを崩すことができず2Q終了、二島42-20東京成徳。

3Qは、東京成徳がこの状況を変えるため、オールコートマンツーマンプレスでプレッシャーをかけるが、二島#9の1対1の個人技に翻弄され、得点を離される。3Q終了。二島61-30東京成徳。4Qに入っても、二島#14のスティールからレイアップシュート、二島#8のドライブシュートと堅い守りからのシュートで得点を重ね、東京成徳もメンバー交代でリズムを変えたいが、状況を変えることができず、最終スコア、二島71-38東京成徳で二島が勝利した。東京成徳の粘りも光ったが、二島の堅い守りと確実なシュートが目立つゲームとなった。